

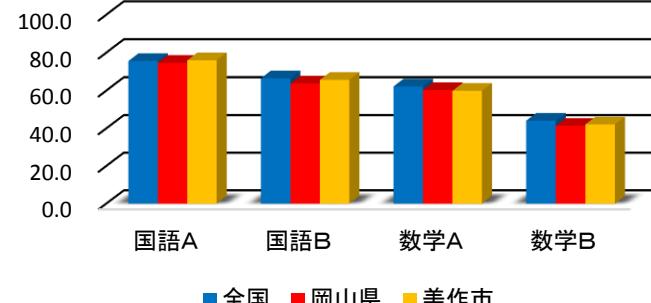
平成28年度 全国学力学習状況調査 中学校版 【美作市 結果・概要】

美作市教育委員会 学校教育課

○平均正答率（中3）

	国語A	国語B	数学A	数学B
全国	75.6	66.5	62.2	44.1
岡山県	74.7	63.8	60.3	41.4
美作市	76.0	65.7	59.9	42.1

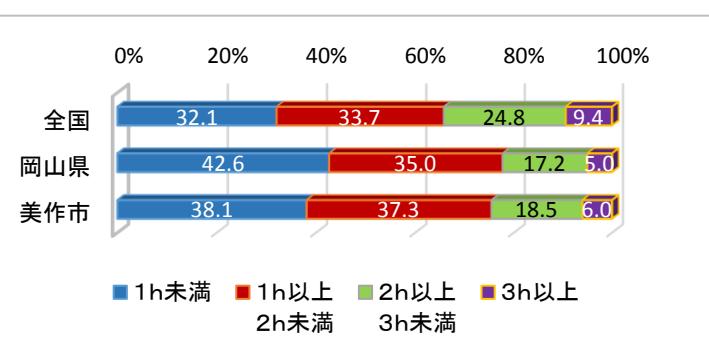
- ・国語Aについては、全国平均、県平均を上回る結果となった。
- ・国語B、数学Bについては、県平均を上回った。また全国平均からは下回ったが、昨年度よりも差は縮まった。
(国語B:3.8→0.8 数学B:3.7→2.0)
- ・数学Aについては県平均を下回ったが、差は縮まった。



○平日の家庭学習時間（中3）

	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	32.1	33.7	24.8	9.4
岡山県	42.6	35.0	17.2	5.0
美作市	38.1	37.3	18.5	6.0

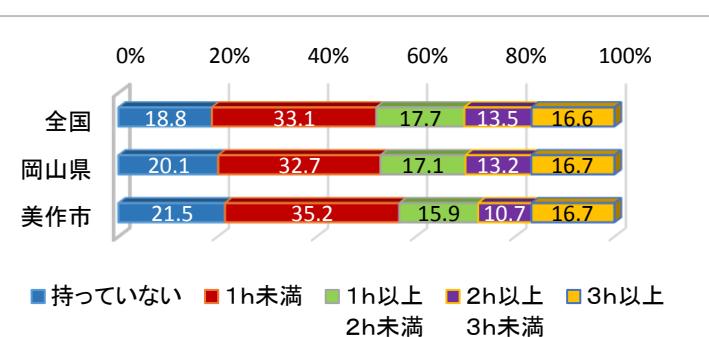
- ・昨年度に比べ、1時間未満の割合が0.4ポイント減少、1時間以上の割合が7.8ポイント増加、3時間以上の割合も0.3ポイント増加するなど、学習時間は増加している。ただし、1時間未満の割合が全体の3分の1を超える状況であり、家庭学習習慣についての課題が大きい。



○平日の携帯・スマホの利用時間（中3）

	持っていない	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	18.8	33.1	17.7	13.5	16.6
岡山県	20.1	32.7	17.1	13.2	16.7
美作市	21.5	35.2	15.9	10.7	16.7

- ・携帯やスマホの未所持率は全国及び県に比べて高いものの昨年度より3.3ポイント減少している。2時間以上の割合は昨年度より9.7ポイント減少しており、各校での取組の成果が表れてきている。



※全国学力・学習状況調査において明らかになった成果と課題

- ・国語Aについては県、全国を上回る結果となり、各校での取組の成果が見えてきたと思われる。しかし、漢字の読み等に弱点があり、繰り返しての学習が今ひとつ成果に結びついていない。さらなる基礎基本の繰り返し、反復学習が必要である。
- ・国語Bや数学では全国との差が縮まるなど、昨年度よりも一定の成果が表れたが、まだ全国平均を下回る。更なる授業改善、振り返りによる定着が必要である。
- ・家庭学習時間が昨年度よりも微増している。しかし、未だ3分の1以上の生徒が家庭学習が1時間未満であり、家庭学習習慣の定着の取組など工夫していくなければならない。
- ・携帯・スマホの利用時間については全体的には減少の傾向である。各校生徒による主体的な取組の成果が表れてきている。

※課題に応じた改善のポイント

○授業改善の取組

- ・「岡山型学習指導のスタンダード」をもとにした授業づくり。授業改善を意識した授業研究の実施。ICT機器等を活用したわかりやすい授業の確立。ユニバーサルデザインを意識した誰もが分かる授業の組み立て。

○落ち着いた学習環境づくり

- ・規範意識の向上。ユニバーサルデザインを意識した学習環境の確立。生徒が主体的に学びあえる学級集団づくり。

○生活習慣、学習習慣の確立

- ・スマホ、ネットの使用についての家庭への啓発。ノーメディアデーの実施。中学校区での家庭学習に関する取組（家庭学習充実ウィーク、家庭学習の手引きの活用）。「家庭学習のスタンダード」に基づいた取組。